



本質安全防爆デジタルカメラ



iCAM50x 簡易操作ガイド

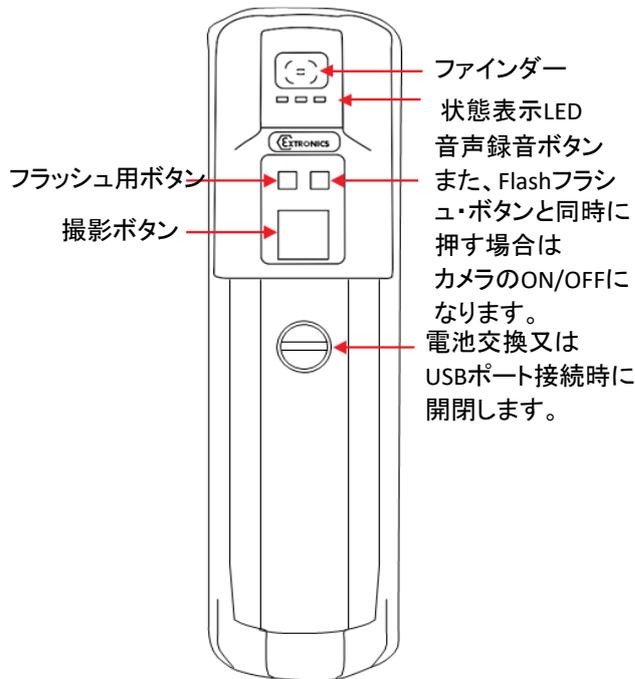
この簡易操作（スタートアップ）ガイドは本質安全防爆デジタルカメラの使用方法和安全上の注意を要約して記載しています。詳しくは iCAM50x に同梱されています取扱説明書を参照ください。

iCAM50x

使用に際して

iCAM50x 本質安全防爆デジタルカメラの前 と後ろの窓ガラスには保護フィルムがあります、使用に際して注意して剥がしてください。

また、iCAM50x はゴム製の衝撃保護カバを付けて使用出来ます。静電気対策された EXTRONICS 社提供のゴムカバ以外は使用しないでください



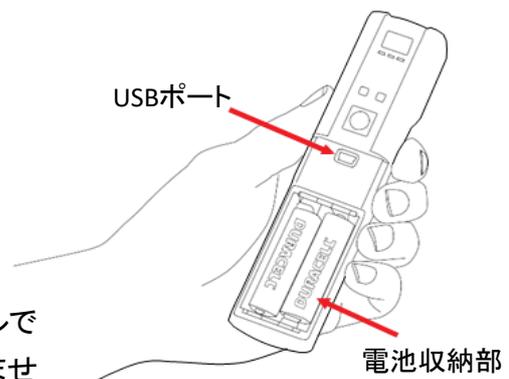
【注記】 コンピュータとカメラをUSB ケーブルで接続した状態では撮影などのボタン操作はできません。ケーブルを取り外して操作ください。

電池交換

iCAM50x の単三電池 (Duracell Procell, MN1500) 交換するには、下図のように背面のネジ部をコインなどで回してカバーを外します。



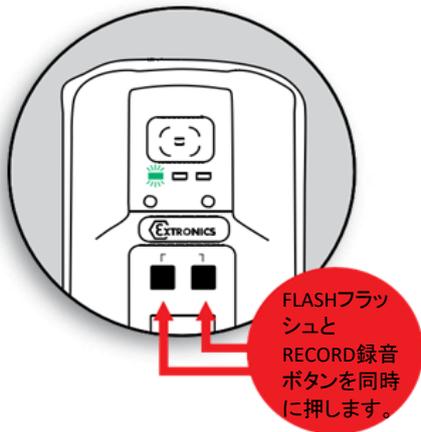
電池は極性を間違わずに正しく収納ください。容器に表示しています。



危険

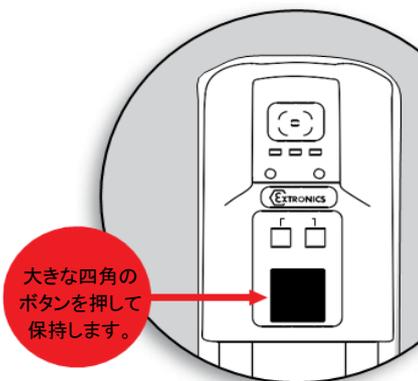
電池の交換は危険場所で行ってはなりません。必ず、安全場所で行ってください。また、電池は防爆検定に合格した電池 (Duracell Procell MN1500) のみ使用できます。 それ以外の電池の使用は禁止されていますのでご注

カメラの電源 ON/OFF



Flash と record ボタンを同時に押しますと、緑色 LED (ON ランプ) が約 10 秒間 高速に点滅します。その後、青と赤の LED が短く点滅しますとボタンから手を離します。すると緑色 LED の点滅が停止して、点灯状態になれば撮影準備 完了です。もし緑色 LED がゆっくり点滅 する場合は電池のレベルが低下しています。電源の OFF にするには、再度、Flash と record ボタンを同時に押します。電源 ON のまま放置しても約 2 分後に自動的に OFF になります。

写真を撮る



撮影用の大きな四角のボタンを押すと、緑色の LED (ON ランプ) の点滅が始まります。そのまま LED (ON ランプ) の点滅が止まり、点灯するまで保持します。点灯すれば、手を離します。撮影完了です。次に撮影結果を確認します。

写真の品質

写真品質は LED で表示されます。

まず、その時の状態で、全て写真撮影され、保存されます。この意味は完璧な写真を撮影することは難しいですが、映りが悪くても写真が撮影されないよりずっと良いと考えるからです。



良好な写真撮影

良好な写真撮影が終了しますと3つの LED ランプが同時に3回点滅します。そして、ピー音が鳴ります。



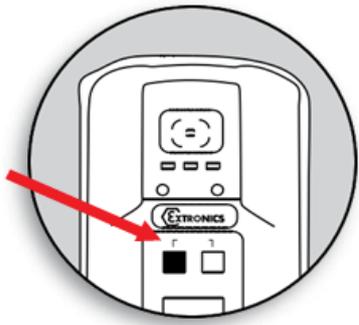
悪い写真撮影

撮影不良の場合、3つの LED ランプが左から右の順番に、即ち赤、青、緑と3回点滅します。写真は撮影されていますが、写真のふれと焦点不良が考えられますので、再度撮影下さい。

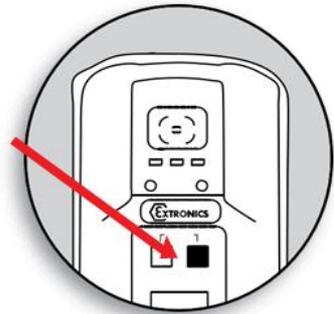
フラッシュの使用

flash (フラッシュ) ボタンを押しますと赤 LED が点滅を開始します。赤の LED の点滅が止まり点灯となり、フラッシュの使用が可能となります。緑色の LED がゆっくりと点滅しますと電池の低下を意味します。撮影ボタンを押しますとフラッシュは自動的に機能します。すなわち、暗いと自動的に動作します。暗い場所では複数回フラッシュが発光しますので、緑色 LED が点灯するまで被写体を保持下さい。続けてフラッシュ撮影を行う場合、充電が完了してフラッシュ LED の点滅が止まるまで待って下さい。

フラッシュ用ボタン



音声録音機能



音声録音の機能

写真に関係する音声は保存できません。record ボタンを押します。青の LED が点灯し準備完了です。写真を通常通り撮ってください、その際撮影ボタンを押したままにしてください。青の LED が点滅しましたら音声録音を開始ください。終了する場合は、ボタンを解除ください

写真のダウンロード

iCAM50x の電源を入れます。そして付属の USB ケーブルを使用してコンピュータと接続します。コンピュータ上で iCAM50x が認識されますので、そのアイコンをダブルクリックして保存されている写真にアクセスします。

【記】写真に日付を入れる場合、

現地時間(日本時間)に合わせるために、EXTRONICS 社提供の Windows time setting tool ソフトウェアを使用すると便利です。以下メーカーのホームページから無償ダウンロードできます。

<https://www.extronics.com/product/icam502-zone-0-handheld-camera/>

USB ケーブルでコンピュータと iCAM502 を接続しデスクトップに表示された Time setting tool アイコンをクリックすれば完了です。コンピュータ内蔵の日時に同期設定されます。

【注記】コンピュータと本質安全防爆デジタルカメラを USB ケーブルで接続した状態では、撮影は出来ません。

